

第100回愛知県社会人クラブチーム対抗バドミントン選手権大会(後期リーグ戦)

愛知県バドミントン協会広報委員会

1位 はりーあっぷ(A)



本大会を長年リードし続けたはりーあっぷ(A)が、節目の 100 回大会で 1位に返り咲いた。

ベテラン鈴木・深尾は、第一ダブルスで台頭する若手を跳ね返してチームを牽引。シングルスの李・川原の2枚看板が躍動する。

全勝対決となった FLIGHT 戦はストレートで勝利。世代交代が進む1部において価値ある優勝となった。

2位 FLIGHT(A)

同世代チームの強みで、試合ごとにダブルスを組み換えながらも、持ち前のスピードで勝ち進み、最終戦まで優勝争いをした。



3位 紫電会

シングルスで大谷が確実にポイントをあげる。ダブルスも、2強との対戦では、フルゲームとなる競り合いをみせる。



WISTARIA(A)



樋渡・石塚



加藤・鈴木

RS NONAK(A)



稻川・末松



番・藤本



真鍋・樋口



瀬戸・榊原

SMAGAN(A)

大会初日 シングルス3強の対戦



2025 年の全日本総合にダブルスで出場した中林 (FLIGT)、大谷 (紫電会) がリーグの舞台ではシングルスで激突。また全国社会人で優勝を飾った川原 (はりーあっぷ) も大谷に挑む。

豊富な運動量でコートをカバーする川原、俊敏な動きで攻撃的なラリーを展開する中林がそれぞれ持ち味を発揮。大谷は高い位置でのタッチで速い球を繰り出し、ラリーを優位に進める。スピードのある二人との対決を勝ち抜いた。

